

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	普通	強	指数
思索型	内閉性 : 社交意識が低い				41
	客観性 : 思考的思慮深い				55
活動型	身体性 : 機敏な・気軽な				61
	気分性 : 感情のまま行動				59
努力型	持続性 : 几帳面・忍耐力				78
	規則性 : 常識的・順法的				58
積極型	競争性 : 勝気な・積極的				48
	自尊心 : 気ぐらいが高い				41
自制型	慎重性 : 見通しをつける				57
	弱気さ : 取越苦労・遠慮				54

この人の中心性格は「努力・持続性」および「活動・身体性」であるが、「活動・気分性」や「努力・規則性」といった側面も本人は意識している。

「努力・持続性」及び「活動・身体性」の人のパーソナリティスケッチ
 息切れがせずいつまでも走りつづける長距離ランナー型である。努力を信条とし、コツコツと丹念な取り組み方をする。一般的にいえば、安心して任せられる職人肌という感じである。そして、徹底性があり納得がいくまで妥協を許さない頑固な面もある。世間の常識や規範に沿い、逸脱した行動をとることはあまりなく、冒険より手堅く安全な方法をとる。服装や持ち物などにも気を配っているが、身につけたりする段階になるとオーソドックスなものを選択する。そういったことから、内面に素晴らしい発案や想像があっても、常識に覆われてしまい、面白味のないものに終わってしまうことがある。また、身が軽くテキパキした行動で物事を解決していく面もある。思いたったことは素早く実行でき、環境が変わってもたやすくついていくことができる。ただ感情に起伏があり、調子に乗れば馬力もあるが、気が向かないと手もつけずに静かにちんまりとしていることもある。人間的には温かくて、人なつこい性格である。持続性と行動力を兼備している。

もう一方の性格特性

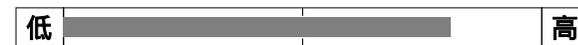
おだてに乗せられる事がなく、自分自身をよく見つめている大人である。「分」をわかまえていて、すがすがしい印象を与える。決して自分をおごり高ぶらず、落ち着いている。それは自己信頼のためであると考えたい。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	普通	強	指数
日常周辺事型				47
客観・科学型				57
社会・経済型				50
心理・情緒型				43
審美・芸術型				50

物事を分析的に考える、又はそのまま事実のみ捕らえる。

信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	普通	強	指数
積極性				71
協調性				74
責任感				61
自己信頼性				53
指導性				59
共感性				67
感情安定性				45
従順性				58
自主性				39
モラトリアム傾向				50

自らの意見や提案を出し、率先して実行に移そうとする。
 仲間と一緒に考え、協力して目標に向かうことができる。
 自分の発言や引き受けた事に対し、責任を持つようとする。
 皆から頼りにされ、意見や行動をまとめていこうとする。
 環境内の仲間と同じ立場になり、物事を考えようとする。
 反抗的なところは少なく、人の意見や指導に素直である。
 指示をまって動くほうだが、大任であるとおろおろする。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

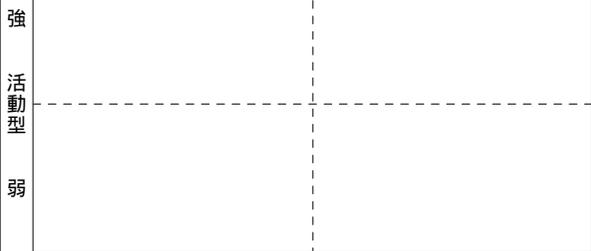
意欲の側面	弱	普通	強	指数
達成 欲求				82
親和 欲求				58
求知 欲求				60
顕示 欲求				60
秩序 欲求				61
物質的欲望				68
危機 耐性				79
自律 欲求				39
支配 欲求				60
勤労 意欲				72

困難な目標にも努力し、常に自分を向上させようとする。
 仲間と競いあっていくより、穏やかな環境の中にいたい。
 知的好奇心が旺盛で、新しい事や珍しい事を追い求める。
 自分が輪の中心となり、人を楽しませたり興奮させたい。
 自己範囲内の環境や物事は、キチンと整理しておきたい。
 モノを獲得し保持したい、失いたくないなど物欲がある。
 逆境に耐え、苦しいときも我慢よくやり抜こうとする。
 自分らしい生き方を追求するより、人の力を頼りにする。
 人の上に立ち、他人を動かすような力関係を形成したい。
 仕事への意欲があり、生きがいの部分として考えている。

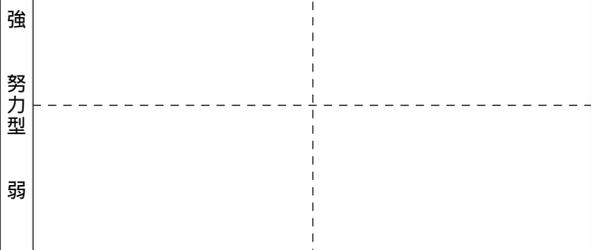
この人は「苦勞を乗り越え、成長したい」系統の欲求群が一番強く、ついで「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群となっている。逆に「対人関係が気になる」系統の欲求群には淡泊な反応である。

【本人の性格特性】

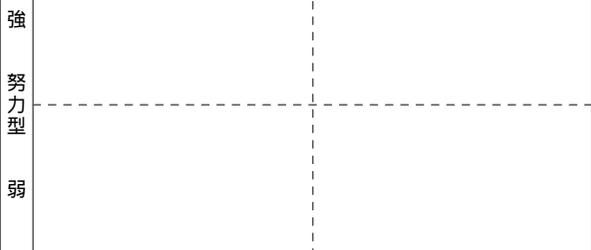
印が本人の位置



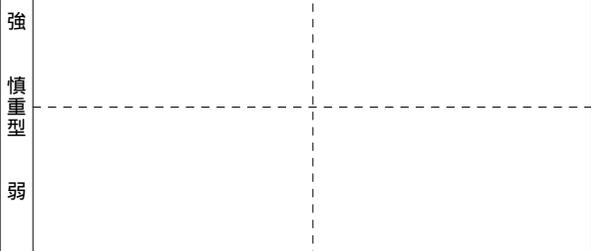
弱 思索型 強



弱 思索型 強



弱 活動型 強



弱 積極型 強

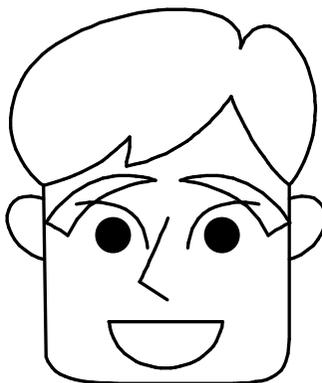
【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性
 瞳の直径：達成欲求
 鼻の高さ：顕示欲求
 顔の輪郭：性格類型

眉の傾き：従順性
 目の傾き：達成欲求 + 求知欲求
 口の形状：親和欲求 + 協調性

逆三角顔 = 思索型
 エラ顔 = 積極型
 細長顔 = 自制型

丸顔 = 活動型
 角顔 = 努力型



【自己評価】

意欲・ヤル気				管理・対人能力				思考能力									
積意根責決	極欲気任断	実熱強感勇	行意さ気	A	A	A	A	指導力	リ己信	自調整力	折衝力	独創斬新	現状分析	洞察立案	企画知識	専門活用	情報
A	A	A	A	A	B	B	B	B	C	C	B	A	B	A	D	B	
A				B				B									

【採用判定】

定着性・安定性 = 13

CUBICの判定結果 = 「A」

【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般の職場状況での可能性		76
(2) 海外など精神力の必要な職務		74
(3) 足腰のよさが武器になる職務		66
(4) 集中力、緻密さの必要な職務		67
(5) 標準化された仕事や工場労働		80

【判定結果B】当人の傾向

「内勤型職務」 「外勤型職務」
 「組織型人間」 「非組織人間」

【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「最適」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- (2) 「最適」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (3) 「最適」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- (4) 「適切」営業など対人的接触をとまう仕事
- (5) 「適切」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (6) 「努力」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「最適」営繕専任者
- (2) 「最適」広報専任者
- (3) 「最適」広報管理者
- (4) 「最適」人事専任者
- (5) 「最適」企画専任者
- (6) 「最適」人事管理者

《低い順》

- (1) 「適切」営業管理者
- (2) 「適切」営業専任者
- (3) 「適切」研究開発者
- (4) 「適切」研究管理者
- (5) 「適切」企画管理者

【判定結果E】配置適性 2

- | | |
|----------------|----------------|
| (1) 「最適」教育研修 | (1) 「適度」研究開発 |
| (2) 「最適」物流 | (2) 「適度」顧客開発 |
| (3) 「最適」営業アシスト | (3) 「適切」品質管理 |
| (4) 「最適」編集校正 | (4) 「適切」新規事業開発 |
| (5) 「最適」広報 | (5) 「適切」総務 |
| (6) 「最適」庶務 | |